

平成23年度 事業計画書

I. 目的

宇宙及び科学への関心と理解増進を推進する事業を通じて、団員を中心とした青少年の宇宙への夢と探求心の醸成を図るとともに、国際社会に貢献できる将来の人材育成を目的として事業を実施する。

II. 概要

本部運営委員会のもと、団員及び分団活動の拡充、教材・プログラム開発、リーダー育成、アウトリーチ活動などを行う本部事業に加え、宇宙航空研究開発機構（以下「JAXA」という。）との宇宙教育の推進に関する確認書に基づき、JAXAと連携・協力しながら、宇宙教育の実践と裾野の拡大を行う。さらに、自治体・企業等と連携・協力した活動を実施する。

III. 事業の実施計画

各事業の実施計画は次のとおりである。

III-1. 本部事業

【1】 運営委員会の運営

YAC活動や運営方針の全体的な検討を行うほか、共通プログラム、団員に係る調整を検討する「子ども部会」、リーダーの育成を検討する「指導者育成部会」、教材開発を検討する「教材開発部会」、活動に係る財政的支援、アウトリーチ策を検討する「おとな部会」からなる運営委員会を運営する。

【2】 分団活動の拡充

分団等の活動をより一層効果的に支援するために、以下の事業を実施する。

1. 分団の運営支援

分団の活動状況及び人材（団員・指導員）に関する情報、データの収集・管理を行うとともに、分団運営に有効な情報、資料等の提供を行う。

【通年実施】

2. 地区連絡協議会の活動推進

分団相互の情報交換や研修を行うことを目的に設置された、全国9地区（北

海道・東北・関東・北陸信越・東海・近畿・中国・四国・九州)の地区連絡協議会の活動を推進する。

【通年実施】

3. 分団長会議

全国より地方本部長、支部長及び分団長が集い、分団長会議を開催する。分団長会議では、運営委員が中心となり、各部会ごとに活動の成果を発表し、YAC分団活動の活性化を図る。また、次年度の分団活動計画に資することを目的に、宇宙に関する情報提供、共通の活動テーマやプログラムについて意見交換を行い、分団活動の推進を図る。

【平成24年1月】

4. 各種教材の情報提供

各種教材の指導方法及び入手方法について、ホームページ等を通して情報の提供を行う。

【通年実施】

【3】 分団結成及び団員拡大

新分団の結成地域をJAXA宇宙教育の推進に関する確認書に基づき、宇宙教育拠点と位置付ける。また、分団結成及び団員拡大を図るうえでは関係機関への協力要請を行う。

分団及び団員の拡大

- (1) 地域の自治体関係者や教育関係者等の関係機関に対し、新分団の結成及び団員拡大に関する協力と支援を依頼する。
- (2) 新規に分団等の結成を検討又は計画している地区、団体等に対して積極的に助言及び指導を行い、必要に応じて、活動している分団に協力を要請す
- (3) 新規分団の結団にあたっては、運営委員や職員を派遣し支援を行う。

【4】 JAXA及び科学館等との連携

宇宙教育員活動の推進にあたっては、JAXA及び科学館等との連携を図り、宇宙教育活動の裾野の拡大を図る。

【5】 情報の提供及び広報活動

団員等へ情報の提供を行うとともに、広く一般へYAC活動の情報公開・提供をすることによりYAC活動への理解を得る。

1. 青少年に対する情報誌の発行等

宇宙情報誌の送付

JAXAと協力し、宇宙情報誌「宇宙のとびら」を製作し、団員等へ年4回、宇宙情報誌の送付を行う。

【6, 9, 12, 3月】

2. ホームページ等による情報の提供

本部・分団の情報更新に努め、分団、団員及び一般の利用者に公開し、Y A C本部活動や分団の活動状況等を閲覧者に提供する。

【通年実施】

3. マスメディアによる広報活動

事業の周知を幅広く行うために、広報ツールの充実を図るとともに、メディア等に対して積極的な情報の提供を行う。

【通年実施】

【6】 普及啓発事業

宇宙教育の理念に基づき、以下の青少年に対する普及啓発事業を実施する。

1. ホンモノ体験事業

子ども達の夏休みに合わせ、ロケット射場のある種子島宇宙センターの見学、自然環境学習、キャンプ実習等をカリキュラムとした体験形式の「種子島スペースキャンプ」を開催し、青少年の宇宙及び自然環境への理解増進と併せて健全な育成を図る。

(対象：小学4年～中学生)

【7月末】

2. 宇宙飛行士参加事業

国際宇宙ステーション（ISS）長期滞在を予定している古川宇宙飛行士とISS滞在中に交信イベントを行う。交信は多地点接続を行い、団員をはじめとする日本中の子ども達へ発信する。

【10月】

3. 特別テーマ事業

日本水ロケットコンテスト2011

全国の子どもを対象に、宇宙教育のシンボリック活動である「水ロケット」の全国大会が名古屋で開催され、本大会の事務局として、事務局支援を行う。本大会は、地区予選会から代表選手が選出され、全国大会を目指す。全国大会では、水ロケット競技のほか、専門家による講演が予定されている。

【平成23年10月】

4. その他事業

(1) 講演会等への講師派遣

宇宙・科学の普及啓発を目的とした講演会等外部より依頼を受けた場合、そのテーマに沿った講師の派遣のコーディネートを行う。

【年数回】

Ⅲ－２．受託事業

衛星データを利用した人材育成プログラム

文部科学省平成23年度地球観測技術等調査研究委託事業として、「将来の幅広い分野での衛星データ利用を目的とした子ども向け人材育成プログラムの開発及び全国での実証」を実施する。

Ⅲ－３．補助金事業

教材の製作・配布

日本宝くじ協会の補助金（申請中）により、「活動教材」を製作し、分団・団員へ配布する。

【年5回】

Ⅲ－４．その他

グッズの製作及び販売

YAC独自のグッズを製作し、各種イベントの開催時等において販売する。

【通年実施】

その他、当財団の目的を達成するために必要な事業を行う。